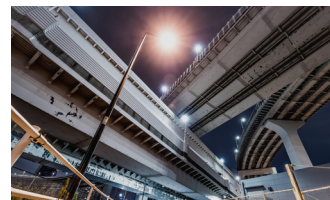


# 染めQコンクリート補修・補強システム

NETIS登録技術

# コンクリートを 再生・延命



橋梁、トンネル、高速道路などの建造物、駅や病院、学校などの施設のほとんどにコンクリートは使用されている。

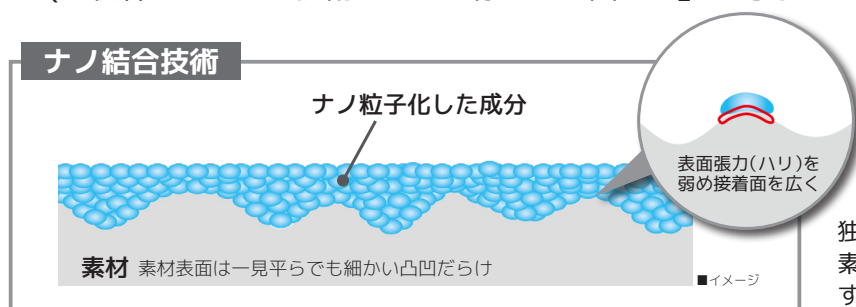
しかし、コンクリートはいずれ劣化し改修は必須である。

従来の「壊して、作り変える」方法では、建造物や施設が使用できなくなることも・・・

稼働を止めずに改修できたら、と研究を重ね完成した**唯一無二**の技術は、劣化したコンクリートを**再生・延命**を可能にした。更に、**圧倒的な強度**で補修・補強を可能にし、新しい工法を生み出した。

## 独自のナノ結合技術

【ナノ結合技術】とは独自の技術で成分を**ナノ粒子化**しあらゆる**素材に結合**させる技術。染めQの根幹であるその技術をもって様々な「困った」に対応するソリューション開発。



独自の技術で、ナノ粒子化した成分を素材の凸凹に隙間なく結合させ一体化することで長期間効果を持続

## 評価された技術

### 【NETIS 登録】

- パワー防錆 EP039 (KT-120046-A)\*
- パワー防錆 AP089 (KT-120046-A)\*
- パワー防錆 NKRN-66 (KT-240025-A)
- コンクリ欠損部補強 066 (KT-240012-A)

### 【認定登録】

- 2024 年：茨城ベンチャートライアル優良商品等創出事業者認定制度
- 2024 年：横浜市 SDGs 認証制度「Y-SDGs」

### 【地方自治体技術登録】

- 静岡県の新技術・新工法情報データベース
- 茨城県版新技術情報提供システム「IT's」

### 【受賞】

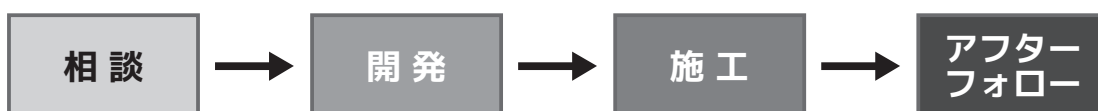
- 2025 年：さいしんコラボ産学官会員企業表彰「優秀賞」
- 2024 年：第 5 回いばらきイノベーションアワード「大賞」
- 2023 年：かながわビジネスオーディション2023「イノベーション大賞」
- 2019 年：プラチナ大賞「優秀賞・技術革新賞」

## 製品開発から施工、アフターフォローまで一括で

私たちは、塗料メーカーではなく、単なる施工会社でもない。

【ソリューション開発研究所】として、誰かの社会のお困り事に徹底的に向き合い、不可能な事は何もないと開発を続け「困った・・・」を解決。

製品開発から施工まで全て責任を持って一括で行うため、柔軟で幅広い対応が可能。



# 補修・補強工法

## コンクリート補修・補強

コンクリ欠損部補強 066 NETIS 登録：No.KT-240012-A

## 上塗り

パワー防錆 AP089 NETIS 登録：No.KT-120046-A<sup>※1</sup>  
絶・耐候性 GF020

## 1 NETIS登録 コンクリ欠損部補強066(No.KT-240012-A)

従来の工法では、欠損部や鉄筋露出部がある場合、前処理として別途、鉄筋防錆や埋め戻しなどの断面修復が必要だった。【新素材・コンクリ欠損部補強 066】を活用する新技術工法【補修・補強工法】は、**コンクリート面も鉄筋も同時に補修・補強**が可能。ひび割れや欠損など対象物の状態によって補修材や工法を変える必要がない為、**工程の大幅削減**を実現。本技術の性能差でLCC（ライフサイクルコスト）が圧倒的に低減されることが認められた。

■工程例 欠損部、鉄筋露出部がある場合。一例。施工条件、躯体の状態などにより異なる場合もある。



## 2 新工法 補修・補強工法とは・・・？

独自の技術でナノ粒子化させた成分をあらゆる素材と結合させる【ナノ結合技術】を用い開発した【新素材】が対象物の劣化した内部まで入り込み一体化。

その表面を厚く覆うことで、劣化した躯体、建造物を**圧倒的な強度**で**補修・補強**を可能にした新工法【補修・補強工法】は、従来の施工の概念を変える。

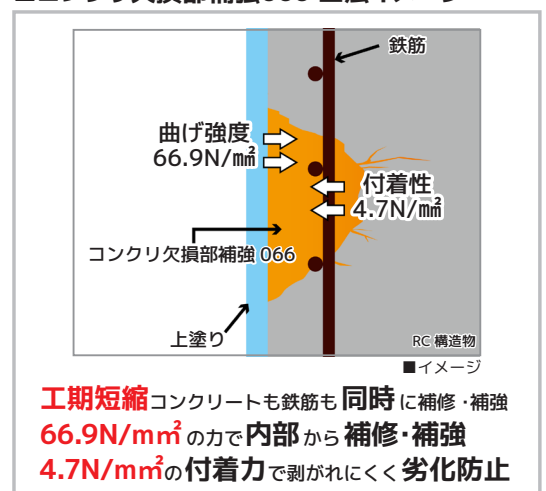
また、**柔軟性も高く**コンクリートのズレにも追従し結合した状態で、長期間劣化を防止。

### ■コンクリ欠損部補強066 力学的症状 (NETIS 登録情報)

	付着強さ	曲げ強さ	圧縮強さ
試験方法	JIS K5600-5-7 モルタル	JIS A1106	JIS K7181
基準値	1.0N/mm <sup>2</sup> 以上	6.0N/mm <sup>2</sup> 以上	20.0N/mm <sup>2</sup> 以上
試験値	<b>4.7N/mm<sup>2</sup></b>	<b>69.9N/mm<sup>2</sup></b>	<b>101N/mm<sup>2</sup></b>

■基準値：国土交通省告示第1372号2項  
※試験値は、品質保証値ではない

### ■コンクリ欠損部補強066 工法イメージ



### ■厚付け可能



### ■欠損箇所の成形も可能



※1：2012年8月～2018年3月掲載  
※2：国土交通省新技術情報提供システム（NETIS）登録 No.KT-240012-A データより  
※3：鋼道路橋塗装・防食便覧 参照

## ■仕様比較

一般的な仕様（鋼道路塗装・防食便覧 参照）				
工程	塗料名	標準使用量 (g/m <sup>2</sup> )	塗装方法	塗装間隔 (20℃)
素地調整	・表面の脆弱層、その他の塵埃や異物を完全に除去 ・突起物や段差等は動力工具などで平滑にする ・エアブローなどで被塗物を十分に清掃 ・欠損部、鉄筋露出部や漏水がある場合は別途鉄筋防さび、埋め戻しなどの断面修復や止水、導水処理を事前に実施する			—
プライマー	エポキシ樹脂プライマー	100	刷毛 ローラー	16時間 ～7日以内
パテ	エポキシ樹脂パテ※ <sup>1</sup>	300	ヘラ こて	16時間 ～7日以内
中塗り	エポキシ樹脂中塗	260	刷毛 ローラー	16時間 ～7日以内
上塗り	低汚染型ふっ素樹脂塗料上塗	120	刷毛 ローラー	—

■鋼道路塗装・防食便覧参照

※<sup>1</sup>:パテの使用量はコンクリート素地の状態によって大幅に変動する。

染めQコンクリート補修・補強				
工程	材料名	標準使用量 (g/m <sup>2</sup> )	塗装方法	塗装間隔 (20℃)
素地調整	表面の脆弱層の除去、清掃・脱脂			—
下塗り	コンクリ欠損部補強066	—	ヘラ こて	12時間 ～14日※ <sup>2</sup>
上塗り	パワー防錆AP089	240	刷毛 ローラー	1時間 ～7日※ <sup>3</sup>
上塗り	パワー防錆AP089			—

※<sup>2</sup>: 上塗りまでの乾燥時間

※<sup>3</sup>: 塗り重ね可能時間

## 染めQコンクリート補修・補強 仕様

### ■塗装工程

素地調整	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 躯体（コンクリート）のもろい箇所は、ハンマーなどでたたいて剥がしてください。</li> <li>● 補修箇所及び周辺のコホリやごみなどを除去してください。</li> <li>● 油分や水分がたまっている場合や、こびりついた油分や汚れなどがある場合は、除去してください。</li> </ul>										
材料名	塗り回数 (回)	色相	混合比率 (重量比)	希釈率 (重量比)※ <sup>1</sup>	塗装方法	合計塗布量 (g/m <sup>2</sup> )	乾燥膜厚 (μm)	塗装間隔 (20℃・60%)			
								塗り重ね 可能時間	上塗り 可能時間	最終養生	
下塗り	コンクリ欠損部補強066※ <sup>2</sup>	1～2	グレー	主剤 5 硬化剤 2	—	—	—	2時間 ～7日	12 時間	—	
上塗り	パワー防錆AP089※ <sup>3</sup>	1～2	色指定	主剤 5 硬化剤 1	0～10%	240	100	1時間 ～7日	—	24時間 以上	

■仕様は一例。対象物の状態、環境などの条件によって仕様異なる場合がある。

※<sup>1</sup>: 主剤と硬化剤を混合したものに対する比率

※<sup>2</sup>: 現場や対象物の状態によって粘度の異なる姉妹品として「コンクリ欠損部補強 066WH」を施工性を容易にする為、使い分ける場合がある。

※<sup>3</sup>: パワー防錆 AP089 は調色対応（日塗工色番号で指定）

### ■使用方法

#### 【素地調整】

①素地調整を行います。(上記表「素地調整」参照)

#### 【下塗り:コンクリ欠損部補強066】

②主剤、硬化剤をそれぞれしっかりと攪拌してください。

③容器に主剤・硬化剤を5:2(重量比)で入れ、電動攪拌機などで色が均一になるまで混ぜてください。

※混ぜりにくいので攪拌不足のないように注意してください。

※攪拌不足は、硬化不良や密着不良など不具合の原因となりますのでご注意ください。

④ヘラやコテなどを使用し、ひび割れ箇所の内部まで押し込むように塗布し、平滑に仕上げてください。

⑤使用後の容器・工具類は【EPレデュサー】または、ラッカーシンナーで洗浄してください。

#### 【上塗り:パワー防錆AP089】

⑥混合前に主剤・硬化剤をそれぞれ電動攪拌機などで粘度が均一になるまで攪拌してください。

⑦主剤と硬化剤を5:1(重量比)の割合で混合し、電動攪拌機などで2分程度よく混ぜ合わせてください。

⑧塗装は、刷毛・ローラー・エアレスガンを使用してください。

⑨使用後の容器・工具類は【APレデュサー】または、ラッカーシンナーで洗浄してください。

## ■仕様比較

一般的な仕様（鋼道路塗装・防食便覧 参照）				
工程	塗料名	標準使用量 (g/m <sup>2</sup> )	塗装方法	塗装間隔 (20°C)
素地調整	・表面の脆弱層、その他の塵埃や異物を完全に除去 ・突起物や段差等は動力工具などで平滑にする ・エアブローなどで被塗物を十分に清掃 ・欠損部、鉄筋露出部や漏水がある場合は別途鉄筋防さび、埋め戻しなどの断面修復や止水、導水処理を事前に実施する			—
プライマー	エポキシ樹脂プライマー	100	刷毛 ローラー	16時間 ~7日以内
パテ	エポキシ樹脂パテ <sup>※1</sup>	300	ヘラ こて	16時間 ~7日以内
中塗り	柔軟形エポキシ樹脂中塗	260	刷毛 ローラー	16時間 ~7日以内
上塗り	柔軟形ふっ素樹脂塗料上塗	120	刷毛 ローラー	—

■鋼道路塗装・防食便覧参照

※1:パテの使用量はコンクリート素地の状態によって大幅に変動する。

染めQコンクリート補修・補強				
工程	材料名	標準使用量 (g/m <sup>2</sup> )	塗装方法	塗装間隔 (20°C)
素地調整	表面の脆弱層の除去、清掃・脱脂			—
下塗り	コンクリ欠損部補強066	—	ヘラ こて	12時間 ~14日 <sup>※2</sup>
上塗り	パワー防錆AP089	240	刷毛 ローラー	1時間 ~7日 <sup>※3</sup>
上塗り	パワー防錆AP089			—

※2:上塗りまでの乾燥時間

※3:塗り重ね可能時間

## 染めQコンクリート補修・補強 仕様

### ■塗装工程

素地調整	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 躯体（コンクリート）のもろい箇所は、ハンマーなどでたたいて剥がしてください。</li> <li>● 補修箇所及び周辺のコロリやごみなどを除去してください。</li> <li>● 油分や水分がたまっている場合や、こびりついた油分や汚れなどがある場合は、除去してください。</li> </ul>										
材料名	塗り回数 (回)	色相	混合比率 (重量比)	希釈率 <sup>※1</sup> (重量比)	塗装方法	合計塗布量 (g/m <sup>2</sup> )	乾燥膜厚 (μm)	塗装間隔 (20°C・60%)			
下塗り	コンクリ欠損部補強066 <sup>※2</sup>	1~2	グレー	主剤 5 硬化剤 2	—	—	—	塗り重ね 可能時間	上塗り 可能時間	最終養生	
上塗り	パワー防錆AP089 <sup>※3</sup>	1~2	色指定	主剤 5 硬化剤 1	0~10%	240	100	1時間 ~7日	—	24時間 以上	

■仕様は一例。対象物の状態、環境などの条件によって仕様異なる場合がある。

※1:主剤と硬化剤を混合したものに対する比率

※2:現場や対象物の状態によって粘度のことなる姉妹品として「コンクリ欠損部補強 066WH」を施工性を容易にする為、使い分ける場合がある。

※3:パワー防錆 AP089は調色対応（日塗工色番号で指定）

### ■使用方法

#### 【素地調整】

①素地調整を行います。(上記表「素地調整」参照)

#### 【下塗り:コンクリ欠損部補強066】

②主剤、硬化剤をそれぞれしっかりと攪拌してください。

③容器に主剤・硬化剤を5:2(重量比)で入れ、電動攪拌機などで色が均一になるまで混ぜてください。

※混ぜにくいので攪拌不足のないように注意してください。

※攪拌不足は、硬化不良や密着不良など不具合の原因となりますのでご注意ください。

④ヘラやコテなどを使用し、ひび割れ箇所の内部まで押し込むように塗布し、平滑に仕上げてください。

⑤使用後の容器・工具類は【EPレデュサー】または、ラッカーシンナーで洗浄してください。

#### 【上塗り:パワー防錆AP089】

⑥混合前に主剤・硬化剤をそれぞれ電動攪拌機などで粘度が均一になるまで攪拌してください。

⑦主剤と硬化剤を5:1(重量比)の割合で混合し、電動攪拌機などで2分程度よく混ぜ合わせてください。

⑧塗装は、刷毛・ローラー・エアレスガンを使用してください。

⑨使用後の容器・工具類は【APレデュサー】または、ラッカーシンナーで洗浄してください。

# 土木改修仕様例 断面補修工

## ■仕様比較

一般的な仕様（鋼道路塗装・防食便覧 参照）				
工程	塗料名	標準使用量 (g/m <sup>2</sup> )	塗装方法	塗装間隔 (20℃)
素地調整	・はつり範囲にカッターを入れ、電動ピックなどでコンクリート劣化部をはつる ・ワイヤーブラシなどで、鉄筋表面の錆を落とし防錆処理を行う			—
プライマー	エポキシ樹脂プライマー	250	刷毛 ローラー	16時間 ～7日以内
断面修復	ポリマーセメント※1	—	刷毛 ローラー	—

■公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)令和4年版 参照  
※1:シール材の使用量はコンクリート素地の状態によって大幅に変動する。

染めQコンクリート補修・補強				
工程	材料名	標準使用量 (g/m <sup>2</sup> )	塗装方法	塗装間隔 (20℃)
素地調整	表面の脆弱層の除去、清掃・脱脂			—
断面修復	コンクリ欠損部補強066	—	ヘラ こて	12時間 ～14日※2

※2:上塗りまでの乾燥時間

## 染めQコンクリート補修・補強 仕様

### ■塗装工程

素地調整	<ul style="list-style-type: none"> <li>●躯体（コンクリート）のもろい箇所は、ハンマーなどでたたいて剥がしてください。</li> <li>●補修箇所及び周辺のコリやごみなどを除去してください。</li> <li>●油分や水分がたまっている場合や、こびりついた油分や汚れなどがある場合は、除去してください。</li> </ul>									
材料名	塗り回数 (回)	色相	混合比率 (重量比)	希釈率 (重量比)	塗装方法	合計塗布量 (g/m <sup>2</sup> )	乾燥膜厚 (μm)	塗装間隔 (20℃・60%)		
								塗り重ね 可能時間	上塗り 可能時間	最終養生
断面修復	コンクリ欠損部補強066※	1～2	グレー	主剤 5 硬化剤 2	—	ヘラ こて	—	2時間 ～7日	12 時間	—

■仕様は一例。施工条件、躯体の状態などにより異なる場合もある。  
※現場や対象物の状態によって粘度のことなる姉妹品として「コンクリ欠損部補強 066WH」を施工性を容易にする為、使い分ける場合もある。

### ■使用方法

#### 【素地調整】

①素地調整を行います。(上記表「素地調整」参照)

#### 【下塗り:コンクリ欠損部補強066】

②主剤、硬化剤をそれぞれしっかりと攪拌してください。

③容器に主剤・硬化剤を5:2(重量比)で入れ、電動攪拌機などで色が均一になるまで混ぜてください。

※混ぜにくいので攪拌不足のないように注意してください。

※攪拌不足は、硬化不良や密着不良など不具合の原因となりますのでご注意ください。

④ヘラやコテなどを使用してコンクリート面に付着させてください。

※垂直面において15～20mmの厚みで付着できます。それ以上は自重により垂れる為、注意してください。

※さらに材料を盛りたい場合には、2時間以上経過してから上記の方法と同様に塗布してください。

その際は、新たに材料を混合してください。

⑤使用後の容器・工具類は【EPレデュサー】または、ラッカーシンナーで洗浄してください。

# 建築改修仕様例 ひび割れ補修 ひび割れ幅:0.2mm未満

## ■仕様比較

一般的な仕様（シール工法）				
工程	塗料名	標準使用量 (g/m <sup>2</sup> )	塗装方法	乾燥時間 (20℃)
素地調整	・表面の脆弱層の除去 ・ワイヤーブラシなどでケレンし、汚れ、ほこり、油などの除去 ・部分的に露出している鉄筋、アンカー金物などがある場合は、鉄筋などの健全部が露出するまでコンクリートをはつり、ワイヤーブラシなどでケレンを行い錆を除去し、防錆処理を行う			—
プライマー	エポキシ樹脂プライマー	100	刷毛	16時間 ～7日以内
断面修復	パテ状エポキシ樹脂 or 可とう性エポキシ樹脂 <sup>※1</sup>	—	ヘラ こて	24時間

■公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)令和4年版 参照

※1:シール材の使用量はコンクリート素地の状態によって大幅に変動する。

染めQコンクリート補修・補強				
工程	製品名	標準使用量 (g/m <sup>2</sup> )	塗装方法	塗装間隔 (20℃)
素地調整	表面の脆弱層の除去、清掃・脱脂			—
下塗り	コンクリ欠損部補強066	—	ヘラ こて	12時間 ～14日 <sup>※2</sup>

※2:上塗りまでの乾燥時間

## 染めQコンクリート補修・補強 仕様

### ■塗装工程

素地調整	● 躯体（コンクリート）のもろい箇所は、ハンマーなどでたたいて剥がしてください。 ● 補修箇所及び周辺のコロリやごみなどを除去してください。 ● 油分や水分がたまっている場合や、こびりついた油分や汚れなどがある場合は、除去してください。										
使用製品	塗り回数 (回)	色相	混合比率 (重量比)	希釈率 (重量比)	塗装方法	合計塗布量 (g/m <sup>2</sup> )	乾燥膜厚 (μm)	施工間隔 (20℃・60%)			
								塗り重ね 可能時間	上塗り 可能時間	最終養生	
下塗り	コンクリ欠損部補強066 <sup>※</sup>	1～2	グレー	主剤 5 硬化剤 2	—	—	—	2時間 ～7日	12 時間	—	

■仕様は一例。施工条件、躯体の状態などにより異なる場合もある。

※現場や対象物の状態によって粘度の異なる姉妹品として「コンクリ欠損部補強 066WH」を施工性を容易にする為、使い分ける場合もある。

### ■使用方法

#### 【素地調整】

①素地調整を行います。(上記表「素地調整」参照)

#### 【下塗り:コンクリ欠損部補強066】

②主剤、硬化剤をそれぞれしっかりと攪拌してください。

③容器に主剤・硬化剤を5:2(重量比)で入れ、電動攪拌機などで色が均一になるまで混ぜてください。

※混ぜにくいので攪拌不足のないように注意してください。

※攪拌不足は、硬化不良や密着不良など不具合の原因となりますのでご注意ください。

④ヘラやコテなどを使用してコンクリート面に付着させてください。

※垂直面において15～20mmの厚みで付着できます。それ以上は自重により垂れる為、注意してください。

※さらに材料を盛りたい場合には、2時間以上経過してから上記の方法と同様に塗布してください。

その際は、新たに材料を混合してください。

⑤使用後の容器・工具類は【EPレデュサー】または、ラッカーシンナーで洗浄してください。

# 建築改修仕様例 ひび割れ補修 ひび割れ幅:1mmを超える

## ■仕様比較

一般的な仕様（鋼道路塗装・防食便覧 参照）				
工程	塗料名	標準使用量 (g/m <sup>2</sup> )	塗装方法	塗装間隔 (20°C)
素地調整	・ひび割れ部に沿って電動カッターなどを用いて幅10mm程度、深さ10~15mm程度にU字型の溝を設ける ・Uカット溝内部に付着している切片、粉じんなどは、ワイヤーブラシ、はけなどで除去			—
プライマー	エポキシ樹脂プライマー	100	刷毛 ローラー	16時間 ~7日以内
シール材 充填	シーリング材 or 可とう性エポキシ樹脂 <sup>※1</sup>	—	コーキング ガン	16時間 ~7日以内

■公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)令和4年版 参照  
 ※1:シール材の使用量はコンクリート素地の状態によって大幅に変動する。

染めQコンクリート補修・補強				
工程	材料名	標準使用量 (g/m <sup>2</sup> )	塗装方法	塗装間隔 (20°C)
素地調整	表面の脆弱層の除去、清掃・脱脂			—
下塗り	コンクリート欠損部補強066	—	ヘラ こて	12時間 ~14日 <sup>※2</sup>

※2:上塗りまでの乾燥時間

## 染めQコンクリート補修・補強 仕様

### ■塗装工程

素地調整	●躯体（コンクリート）のもろい箇所は、ハンマーなどでたたいて剥がしてください。 ●補修箇所及び周辺のコリやごみなどを除去してください。 ●油分や水分がたまっている場合や、こびりついた油分や汚れなどがある場合は、除去してください。									
材料名	塗り回数 (回)	色相	混合比率 (重量比)	希釈率 (重量比)	塗装方法	合計塗布量 (g/m <sup>2</sup> )	乾燥膜厚 (μm)	塗装間隔 (20°C・60%)		
								塗り重ね 可能時間	上塗り 可能時間	最終養生
下塗り	コンクリート欠損部補強066 <sup>※</sup>	1~2	グレー	主剤 5 硬化剤 2	—	ヘラ こて	—	2時間 ~7日	12時間	—

■仕様は一例。施工条件、躯体の状態などにより異なる場合もある。  
 ※現場や対象物の状態によって粘度の異なる姉妹品として「コンクリート欠損部補強066WH」を施工性を容易にする為、使い分ける場合もある。

### ■使用方法

#### 【素地調整】

①素地調整を行います。(上記表「素地調整」参照)

#### 【下塗り:コンクリート欠損部補強066】

- ②主剤、硬化剤をそれぞれしっかりと攪拌してください。
- ③容器に主剤・硬化剤を5:2(重量比)で入れ、電動攪拌機などで色が均一になるまで混ぜてください。  
※混ぜにくいので攪拌不足のないように注意してください。
- ※攪拌不足は、硬化不良や密着不良など不具合の原因となりますのでご注意ください。
- ④ヘラやコテなどを使用してコンクリート面に付着させてください。  
※垂直面において15~20mmの厚みで付着できます。それ以上は自重により垂れる為、注意してください。  
※さらに材料を盛りたい場合には、2時間以上経過してから上記の方法で同様に塗布してください。
- その際は、新たに材料を混合してください。
- ⑤使用後の容器・工具類は【EPレデュサー】または、ラッカーシンナーで洗浄してください。

# 建築改修仕様例 欠損補修

## ■仕様比較

一般的な仕様（鋼道路塗装・防食便覧 参照）				
工程	塗料名	標準使用量 (g/m <sup>2</sup> )	塗装方法	塗装間隔 (20℃)
素地調整	・表面の脆弱層の除去 ・ワイヤーブラシなどでケレンし、汚れ、ほこり、油などの除去 ・部分的に露出している鉄筋、アンカー金物などがある場合は、鉄筋などの健全部が露出するまでコンクリートをはつり、ワイヤーブラシなどでケレンを行い錆を除去し、防錆処理を行う			—
プライマー	エポキシ樹脂プライマー	100	刷毛 ローラー	16時間 ~7日以内
充填	エポキシ樹脂モルタル or ポリマーセメントモルタル <sup>※1</sup>	300	ヘラ こて	16時間 ~7日以内

■公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)令和4年版 参照  
 ※1:シール材の使用量はコンクリート素地の状態によって大幅に変動する。

染めQコンクリート補修・補強				
工程	材料名	標準使用量 (g/m <sup>2</sup> )	塗装方法	塗装間隔 (20℃)
素地調整	表面の脆弱層の除去、清掃・脱脂			—
下塗り	コンクリ欠損部補強066	—	ヘラ こて	12時間 ~14日 <sup>※2</sup>

※2:上塗りまでの乾燥時間

## 染めQコンクリート補修・補強 仕様

### ■塗装工程

素地調整	● 躯体（コンクリート）のもろい箇所は、ハンマーなどでたたいて剥がしてください。 ● 補修箇所及び周辺のコブやごみなどを除去してください。 ● 油分や水分がたまっている場合や、こびりついた油分や汚れなどがある場合は、除去してください。										
材料名	塗り回数 (回)	色相	混合比率 (重量比)	希釈率 (重量比)	塗装方法	合計塗布量 (g/m <sup>2</sup> )	乾燥膜厚 (μm)	塗装間隔 (20℃・60%)			
								塗り重ね 可能時間	上塗り 可能時間	最終養生	
下塗り	コンクリ欠損部補強066 <sup>※</sup>	1~2	グレー	主剤 5 硬化剤 2	—	ヘラ こて	—	—	2時間 ~7日	12 時間	—

■仕様は一例。施工条件、躯体の状態などにより異なる場合もある。  
 ※現場や対象物の状態によって粘度の異なる姉妹品として「コンクリ欠損部補強066WH」を施工性を容易にする為、使い分ける場合もある。

### ■使用方法

#### 【素地調整】

①素地調整を行います。(上記表「素地調整」参照)

#### 【下塗り:コンクリ欠損部補強066】

②主剤、硬化剤をそれぞれしっかりと攪拌してください。

③容器に主剤・硬化剤を5:2(重量比)で入れ、電動攪拌機などで色が均一になるまで混ぜてください。

※混ぜにくいので攪拌不足のないように注意してください。

※攪拌不足は、硬化不良や密着不良など不具合の原因となりますのでご注意ください。

④ヘラやコテなどを使用してコンクリート面に付着させてください。

※垂直面において15~20mmの厚みで付着できます。それ以上は自重により垂れる為、注意してください。

※さらに材料を盛りたい場合には、2時間以上経過してから上記の方法と同様に塗布してください。

その際は、新たに材料を混合してください。

⑤使用後の容器・工具類は【EPレデューサー】または、ラッカーシンナーで洗浄してください。

# 施工事例

## 茨城県冬木橋 橋脚

BEFORE



AFTER



BEFORE



AFTER



仕様

素地調整

3種ケレン  
清掃・脱脂

欠損補修

コンクリ欠損部補強066WH

表面処理

パワー防錆  
NKRN-66

上塗り

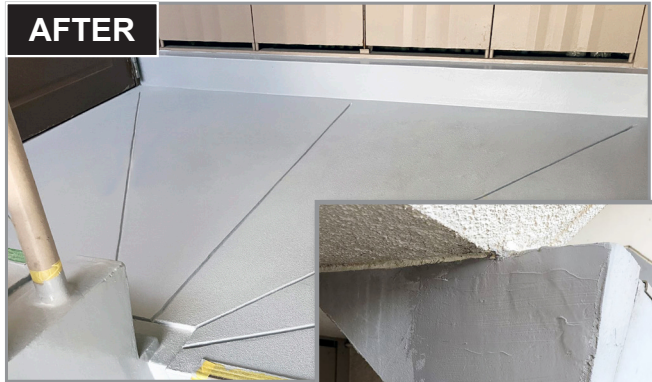
絶・耐候性  
GF020

## 自衛隊宿舎 階段

BEFORE



AFTER



踊り場

素地調整

3種ケレン  
清掃・脱脂

補修・補強

DCYフィラー

上塗り

耐候床041

ササリ柵

素地調整

3種ケレン  
清掃・脱脂

プライマー

必殺錆封じ

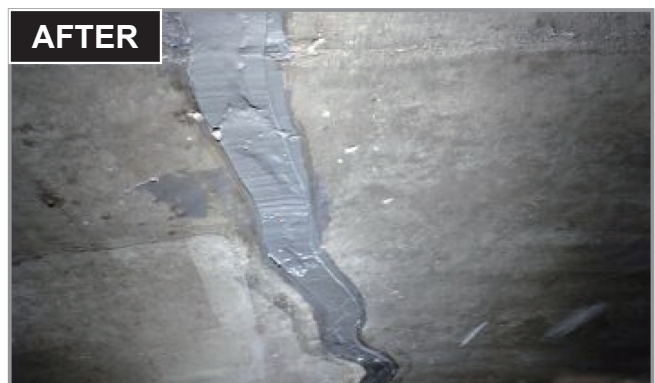
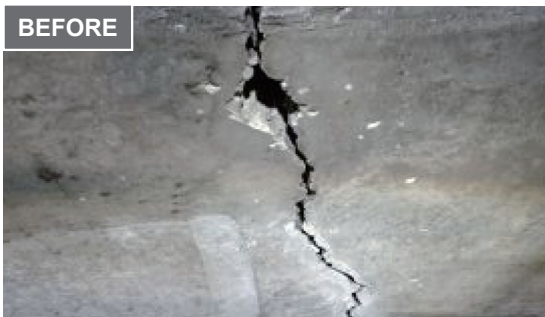
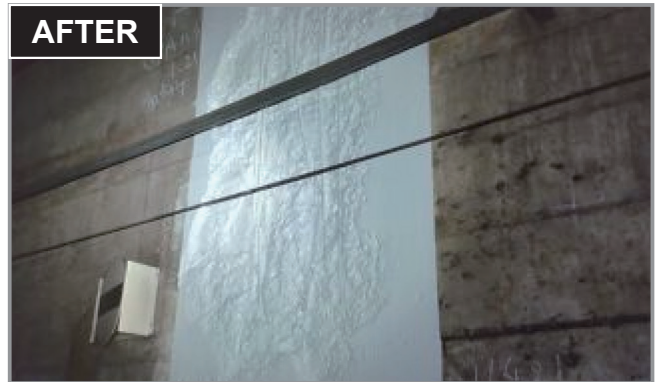
欠損補修・補強

アルミパテ防錆[J]  
コンクリ欠損部補強066WH

上塗り

耐候床041

## 地下鉄トンネル 壁面・天井

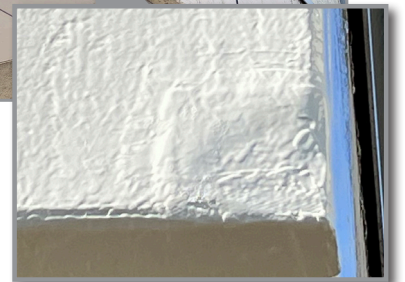


仕様	素地調整 3種ケレン 清掃・脱脂	欠損補修 コンクリ欠損部補強066WH
	→	

## 役所内建屋 壁面



躯体内部の鉄筋が露出



鉄筋ごと欠損箇所を補修・補強

仕様	素地調整 3種ケレン 清掃・脱脂	欠損補修 コンクリ欠損部補強066WH	表面処理 パワー防錆 NKRN-66	上塗り パワー防錆 AP089
	→			

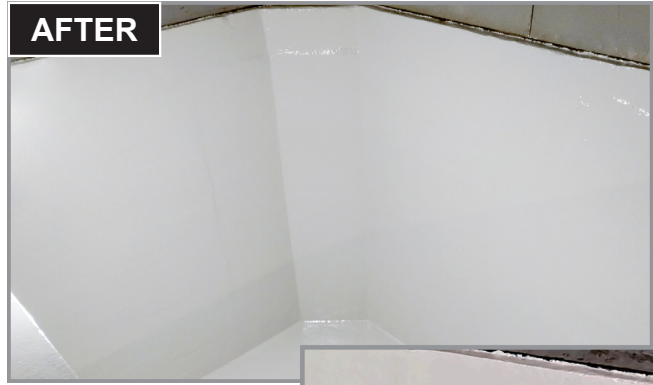
## 食品工場 タンク

BEFORE



壁面には亀裂が入り、油も染み出てきて

AFTER



油の染み出てくる壁面を【油まみれでも】で下塗り 付着性を上げた

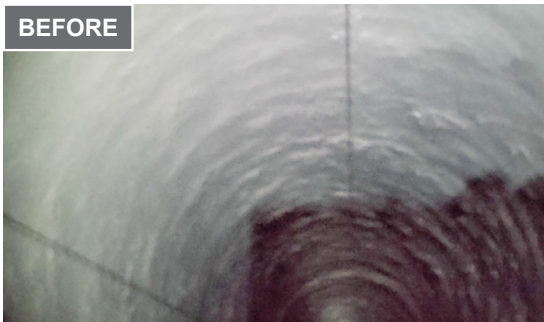


亀裂箇所も頑強に補修・補強

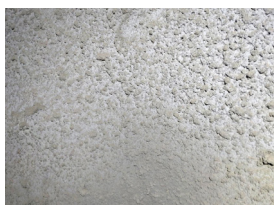


## 発電所 煙突内部

BEFORE

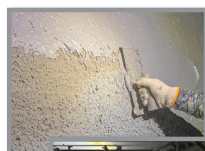


200M級の煙突を...



内部の耐火材(モルタル)がボロボロで...

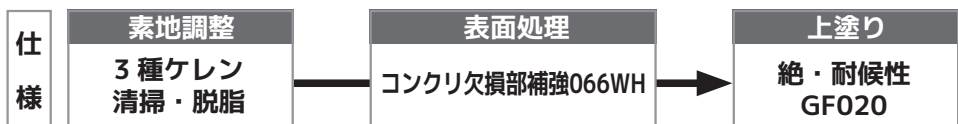
AFTER



ゴンドラを使用し施工

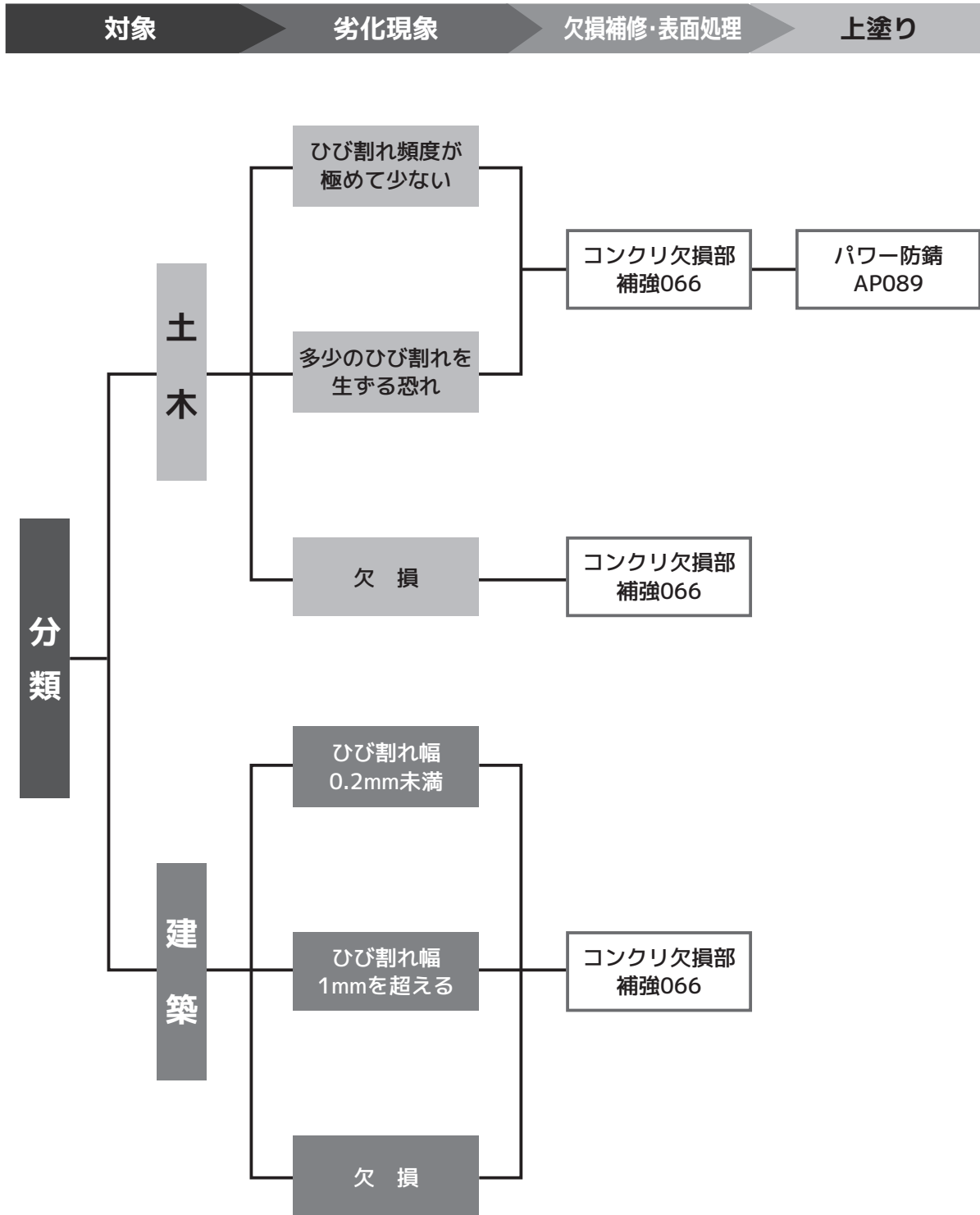


耐火材の上から補修・補強することで作業工程と工期を大幅短縮



## 染めQコンクリート補修・補強システム 製品選定フロー

従来工法は、対象や劣化状態によって仕様が異なり一つの現場でも様々な補修材が必要に。染めQならひび割れも、欠損も同じ補修材で補修・補強ができる為、躯体状態や環境によって材料や工法を変える必要がなく材料・作業コストを抑えることが可能。



■一例。施工条件、躯体の状態などにより異なる。

クラック補修 欠損補修 補強

## コンクリ欠損部補強066

NETIS 登録製品：No.KT-240012-A

劣化したコンクリート表面の細かい亀裂も内部から補修・補強。一度に厚付けができ、簡単な下処理だけで欠損箇所や鉄筋コンクリートの爆裂箇所でも補修・補強ができるため、作業コストの大幅削減も可能。



### 用途

- コンクリートの欠損補修・補強
- コンクリートの欠損部成形
- コンクリートの躯体補強

### 特長

- 一度に厚付けが可能（15～20mm）
- 欠損部の補修が容易に
- 強化コンクリートをはるかに超える強度
- 鉄筋コンクリートの爆裂箇所も補修可能
- 作業コストの大幅削減

混合比 (主剤・硬化剤)	可使時間 (20℃・60%)	色調	荷姿	
			容量	梱包
5:2(重量比)	1～2時間	グレー	主剤:5kg 硬化剤:2kg	7kgセット

※施工専用商材の為、一般販売不可

クラック補修 欠損補修 補強

## コンクリ欠損部補強066WH

高粘度の補修剤で劣化したコンクリートを補修・補強。垂直面や天井面でも垂れにくく厚付けでき、欠損箇所の成形も簡単にできる。



### 用途

- 壁面や天井部などの欠損補修・補強
- コンクリートの欠損部成形
- コンクリートの躯体補強

### 特長

- 成形が簡単にできる
- 垂直面や天井面でも垂れにくい
- ホイップ状で柔らかく扱いやすい
- 厚付けができるため、欠損箇所の成形も可能
- 強化コンクリートをはるかに超える強度

混合比 (主剤・硬化剤)	可使時間 (20℃・60%)	色調	荷姿	
			容量	梱包
4:3(重量比)	1～2時間	グレー	主剤:4kg 硬化剤:3kg	7kgセット

※施工専用商材の為、一般販売不可

防錆 欠損補修 補強

## パワー防錆NKRN-66

NETIS 登録製品：No.KT-240025-A

最小限のケレン作業で下処理が完了し、68N/㎡もの高い強度で劣化した躯体、建造物を補修・補強しサビを長期間抑える。また、重金属の減少、有機化合物を10%以下に低減することで、周辺環境への影響も抑える。



### 用途

- 錆面の防錆・補強
- 欠損箇所の補修・補強
- ケレンが難しい現場での防錆施工
- 鉄部、コンクリートなどの躯体補強

### 特長

- 最小限のケレンで下処理が完了
- 溶接なしで欠損箇所の補修・補強が可能
- 68N/㎡の強度で錆を物理的に抑え、
- 鉄筋コンクリートの爆裂箇所も補修可能
- 作業コストの大幅削減

混合比 (主剤・硬化剤)	可使時間 (20℃・60%)	色調	荷姿	
			容量	梱包
5:2(重量比)	1～2時間	グレー	主剤:5kg 硬化剤:2kg	7kgセット

油床塗装 コンクリート塗装

床塗料シリーズ

## 密着!! 油まみれでも

簡単な下処理だけで、油の浸透した床でもプライマーなしで直接塗装が可能。高い密着力で長期間剥がれにくく、床以外にも油の浸透した躯体の下塗りとしても使用が可能。



### 用途

- 油の浸透したコンクリート床の塗装
- 油の浸透した躯体の下塗り
- タイヤ痕などの汚れ防止

### 特長

- 簡単な下処理でそのまま塗装可能
- 油の浸透したコンクリート床でも
- しっかり密着して長期間剥がれにくい
- タイヤ痕や汚れもつきにくい

混合比 (主剤・硬化剤)	可使時間 (20℃・60%)	色調	荷姿	
			容量	梱包
1:1(重量比)	1～2時間	全10色※	主剤:5kg 硬化剤:5kg	10kgセット

カラー：グリーン・ライトグリーン・グレー・ライトグレー・スカイブルー・オレンジ・イエロー・アイボリー・ブラウン・ホワイト・調色品（10セット単位、日塗工色番号指定）

## 防錆上塗り

# パワー防錆AP089

NETIS 登録製品：No.KT-120046-A

抜群の防食性と耐候性、耐化学薬品性に優れ、衝撃にも強い塗膜を形成し、長期間錆を抑える防錆上塗り剤。鉛やクロムなどの有害重金属を一切使用せず、優れた安全性も。



### 用途

- 屋外防錆上塗り
- 錆の発生を長期間抑える

### 特長

- 優れた防食性・耐候性・耐化学薬品性
- 過酷な場所(港湾設備・プラントなど)でも防錆効果が長期間持続
- 頑強な塗膜で長期間錆の発生を抑える
- 抜群の光沢を長期間維持
- 鉛やクロムを含まない

混合比 (主剤・硬化剤)	可使時間 (20°C・60%)	色調	荷姿	
			容量	梱包
5:1(重量比)	3~5時間	調色品 (日塗工色番号指定)	主剤:3.5kg 硬化剤:0.7kg	4.2kgセット

※受注生産品

## フッ素系上塗り 耐薬品性上塗り

# 絶・耐候性GF020

耐薬品性・耐久性に優れたフッ素系上塗り剤。壁・床・機材などに塗布することで、薬品による腐食から長期間躯体を守ります。防汚性にも優れ、躯体表面の汚れも防ぐ。



### 用途

- 薬品による躯体などの腐食の防止
- 躯体、外壁の保護

### 特長

- フッ素系塗料
- 優れた耐薬品性、耐久性、防汚性
- 躯体、建造物、施設の劣化を防ぐ

混合比 (主剤・硬化剤)	可使時間 (20°C・60%)	色調	荷姿	
			容量	梱包
7:1(重量比)	1~2時間	調色品 (日塗工色番号指定)	主剤:4.2kg 硬化剤:0.6kg	4.8kgセット

※受注生産品

## 防錆上塗り 環境対策

# パワー防錆KM

鉛などの重金属の溶出もなく(溶出試験済)環境に配慮した製品。鉄部やコンクリートなど幅広い素材に対応し、安全性を求められる現場での上塗りに最適。※食品工場での使用実績あり



### 用途

- 食品工場の壁面、タンクなどの上塗り
- 重金属の溶出不可の現場で使用可能

### 特長

- 金属の重金属の溶出なし ※溶出試験済み
- 食品工場などの安全性を求められる場所でも使用可能 ※食品工場での使用実績あり
- 環境に配慮した製品

混合比 (主剤・硬化剤)	可使時間 (20°C・60%)	色調	荷姿	
			容量	梱包
1:1(重量比)	1~2時間	ホワイト	主剤:5kg 硬化剤:5kg	10kgセット

※施工専用材の為、一般販売不可

# 大改修 時代

染めQが担う

ヒトの生命を守り — あらゆるモノの再生・補強・延命化も

株式会社 染めQテクノロジー 〒306-0313 茨城県猿島郡五霞町元栗橋5971番地31  
TEL:0280・80・0005(代) FAX:0280・80・0006(代)



<https://sodayq.com/>